

## 第3期宮前区区民会議 第5回 企画部会 摘録

日 時 平成23年7月26日(火) 18:00~20:00

場 所 宮前区役所4階第3会議室

参加者 委 員 山下委員長、恒川副委員長、直本副委員長、佐藤部会長、持田部会長  
事務局 有山企画課長、雨宮係長、白石職員  
阿部(コンサルタント)

### 1 第5回全体会について

#### 1) 進行について

- ・ 専門部会からの報告終了後の意見交換の進行は恒川副委員長が行う。

#### 2) 資料修正

- ・ 「資料3坂道を活かしたまちづくり」の坂道マップの制作体制の平成24年度に関する文章は、活力づくり部会委員が任期終了後も引き続き作成・編集に携わるような表現となっており、誤解を与える可能性があるため、「活力づくり部会委員が関わりマップの作成・編集」に修正する。

### 2 今後の専門部会の検討について

#### 1) 活力づくり部会について

- ・ 坂道マップの具体的な活用方法を検討する必要がある。

### 3 その他

#### 1) 区民会議のあり方(意見交換)

※ 区民会議のあり方について意見交換を行った。意見交換は以下のとおり。

※ 区としても区民会議のあり方について企画部会でまとめていきたい。

#### 【意見交換】

##### (これまでの区民会議)

- ・ 第1期では良い提案があったが、課題解決提案制度などを区から広報したが、結局担い手が見つからなかった。第2期では提案を実現するために委員が担い手としてそのまま引き継いだ。

##### (委員の役割)

- ・ 委員がどこまで決めていいのか。提案後は自分たちの手から離れてしまう。提案した内容を全くの新しい人に実現してもらうのも難しい。ジレンマがある。
- ・ 提案内容についてもっと言いたいことがあっても、結局自分たちが実現するわけではないので、言いにくい。
- ・ 地参知笑部会では、区民会議は提案のみで実現に向けた検討作業はやらないという認識を持っている。提案内容は市民館などに任せるというイメージになっている。今後の区民会議の委員になる人のイメージとして、部会に入るとずっとそれから離れられなくなるというイメージを持たれるのは良くない。

### 第3期宮前区区民会議 第5回 企画部会 摘録

#### (委員のあり方)

- ・ 部会での検討において、ある特定の委員のみの少数だけで検討し、それ以外の委員は名前だけ出しているような状況がある。そのような状況であっても、検討は進んでしまう。区民会議委員のあり方を考える必要がある。

#### (提案の実現について)

- ・ 実現性のない提案はしてもしようがない。区民会議委員が引き継ぐのではなく、どうしたら実現できるかも提案の中で考える必要がある。
- ・ 随時取り組みを見直したり、取り組みの担い手などのフォローは行政しかできないのではないか。

#### 2) 全体会の集合時間

- ・ ZAMA 坂道マラソンを講演してくれる座間青年会議所・濱野氏などへの対応もあるため、全体会開始 15 分前に会場に集合する。

(以上)